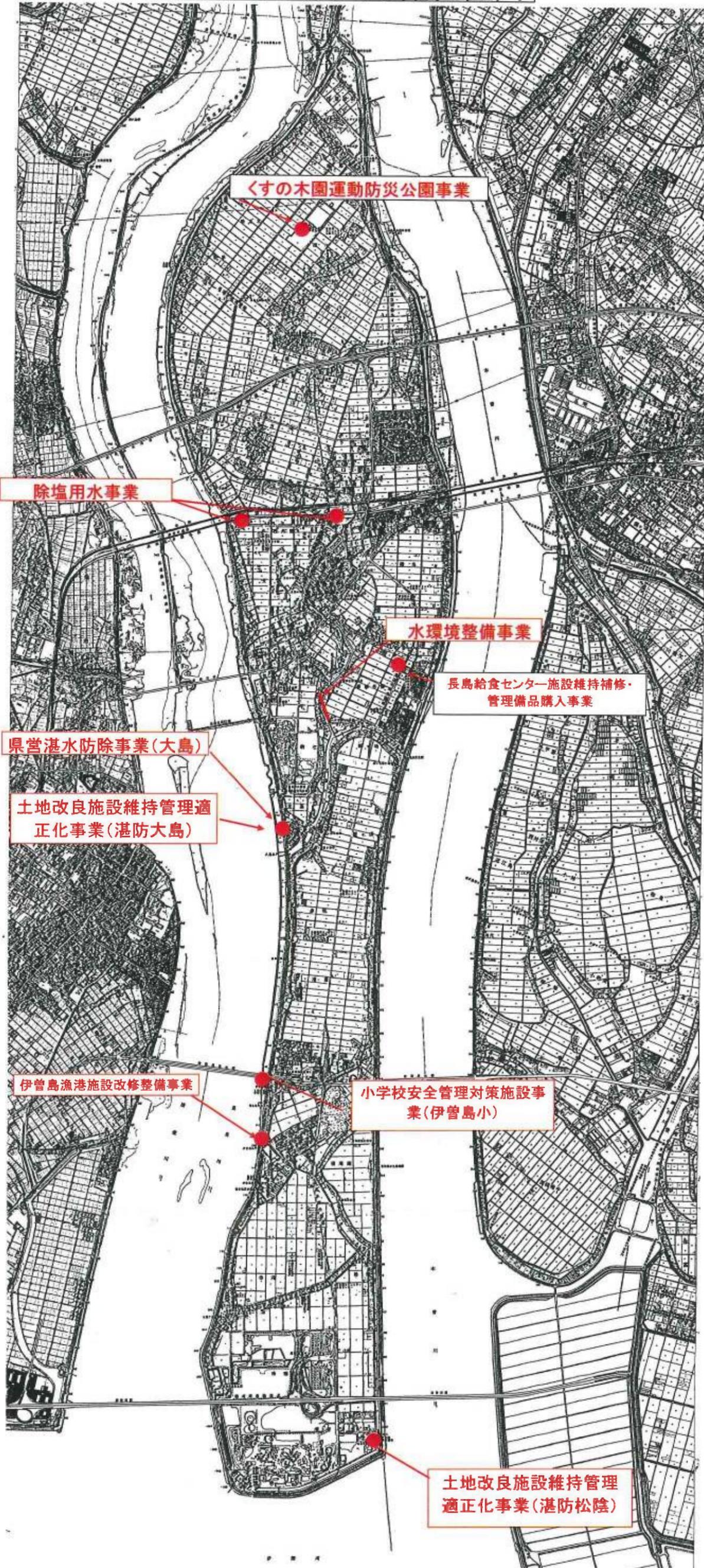


長島町総合支所内事業位置図



長島地区地域審議会 資料 (担当 防災対策・長島地域振興課)

議題(1) 長島地区における防災計画について

①伊曾島地区防災センター整備の進捗状況

事業概要

昨年度の地域審議会での報告で「財政的なことも含め、市全体の地域バランス、地理的条件、人口集積等も考慮し、民間施設等との応援協定も踏まえ検討していく」との方向性については、現在も進行中である。

そのような中、本年は、地域での打ち合わせ会議を5回開催し、伊曾島地区の防災施設について話し合いを行った。

会議では、既存の避難所の高さの確認、複合施設の検討や自主防災組織等の地域防災力の確認などを行い。また、既存避難所の防災機能の拡充、民間協定の拡充についてもご意見が出た。

東日本大震災では、ハード面の整備で対応する防災対策の限界も見え、ハードだけでは守れないことが分かった。特にゼロメートル地帯で堤防に囲まれた長島地域は、市民・行政・関係機関が一体となった防災・減災に向けた総合的な防災体制の確立が必要と考えている。

このことから、既存施設の見直しや地域の現況調査、防災意識の向上など地域住民のご意見を伺いながら、検討していくことを考えている。

平成24年度の進捗予定

今後の予定については、基本計画の策定に向けて、住民の意見集約を行い、総合計画や防災計画との整合性、確保すべき機能、整備・維持管理の考え方などを検証していくとともに、「新たに防災施設として、どのようなものが必要であるのか」を含め、施設整備の基本方針を検討していくことを考えている。

長島地区地域審議会 資料 (担当 都市整備課、長島地域振興課)

議題(1) 長島地区における防災計画について

②防災公園(くすの木運動公園)整備の進捗状況

事業概要

本公園は、野球場などに使える多目的運動公園として整備を行い、また災害時の応急仮設住宅建設用地として備えるために、平成15年度より三重県住宅供給公社より約32,000㎡を7ヵ年で購入。

平成23年度は地質調査を実施し、主に将来における土地の圧密沈下の予測の検討を行いたい。

平成24年度の進捗予定

平成24年度は、災害時における利用方法の整理を行い、平成25年度施行予定の実施設計に反映させていく。

長島地区地域審議会 資料 (担当 防災対策課)

議題(1) 長島地区における防災計画について

③津波浸水予測を考慮した既存避難所施設の充実について

現況

本年3月11日に発生した東日本大震災では、巨大な揺れと津波により、多くの建築物や人命を失っている。当地域においても、東海地震が起爆剤となり三連動もしくは四連動の巨大地震の発生が今世紀内に起こると有識者の間では指摘されているところである。このような中、昨年10月に三重県において、津波による浸水被害想定図を国に先駆け公表し、本市においても、12月1日の市広報により市民の方々に示したところである。

また、12月22日に三重県では、50cmの津波到達時間と最大津波の到達時間を公表し、桑名市においてはこの長島町木曾川で最大3.28m 到達時間190分と想定数値となっているところであり、このことを踏まえて、既存の避難施設である公民館、小・中学校の整備を順次進めていくことを考えている。

今後の計画

避難所となる公共施設への浸水深の表示や電柱などへの海拔表示板の設置、また、地震による自動開錠ボックスの設置、小中学校への非常階段の設置などを検討しているところである。現行の防災資機材や備蓄食料などについては年度計画を立てて進め取り組んでいるが、全体では不足気味であるため、市民の方には3日分の食糧備蓄を周知啓発しているところである。

また、物資協定や支援協定なども必要に応じ締結し、市全体の防災強化を図っているところであるが、災害時に犠牲者を出さないためにも「生きるために備え、生きるために逃げる」と言うことも念頭に入れ、今後も安全・安心なまちづくりに取り組んでいく。

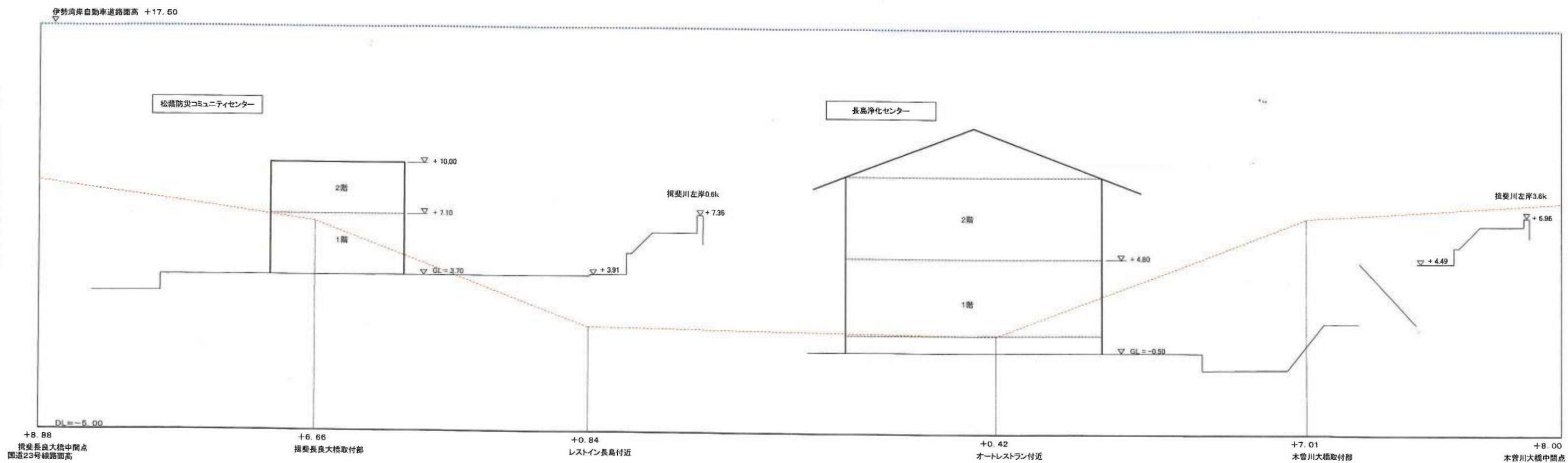
「長島地区」災害時指定避難所

資料No.3-4

地区名	避難所名	所在地	電話番号	収容人員	延(床)面積	区分	
長島	北部	ニューハートピア温泉	桑名市長島町松之木604-2	42-2661	250人	6,639 m ²	
		輪中の郷	桑名市長島町西川1093	42-0001	800人	2,564m ²	
		輪中ドーム	桑名市長島町西川1093	41-1151	1,200人		
		長島北部小学校	桑名市長島町西川423	42-0104	1,200人	3,857m ²	
		長島公民館北部分館	桑名市長島町西川375	42-0919	100人	346m ²	
	中部	長良導水管理所	桑名市長島町西外面1026	42-5671	50人		
		桑名三川商工会長島支所	桑名市長島町萱町121-3	42-3111	100人		
		Aコープ長島店	桑名市長島町又木55	42-0815	350人		
		長島中学校	桑名市長島町西外面2175	42-0054	2,300人	8,716m ²	
		長島中部小学校	桑名市長島町西外面2188	42-0038	1,700人	5,647m ²	
		長島公民館	桑名市長島町松ケ島61-3	42-1000	500人	2,126m ²	
		名古屋市休養温泉ホーム 松ケ島	桑名市長島町松ケ島700-12	42-3330	600人		
		トヨタ車体健保組合和泉荘	桑名市長島町松ケ島733-24	42-2303	300人		
		アクアプラザながら	桑名市長島町十日外面136	42-5071	300人		
		長島B&G海洋センター	桑名市長島町松ケ島59	42-1002	500人	1,227m ²	
		ながしま遊館ふれあい学 習館	桑名市長島町源部外面337	41-1041	110人	1,529m ²	
		長島教育集会所	桑名市長島町十日外面153	42-1003	50人	301m ²	
		長島防災コミュニティセンター	桑名市長島町平方150-1	41-1900	300人	1,628m ²	
	伊曾島	長島浄化センタークリー ンピア	桑名市長島町赤地331	45-1255	50人	2,023m ²	
		伊曾島小学校	桑名市長島町福吉567	45-0006	1,300人	3,618m ²	
		伊曾島漁業協同組合	桑名市長島町白鷄1-1	45-0511	50人		
		伊曾島地区市民センター (南部防災コミュニティセ ンター併設)	桑名市長島町白鷄1-38	45-0002	100人	398m ²	
		長島公民館伊曾島分館	桑名市長島町白鷄1-2	45-0429	100人	346m ²	
		松蔭防災コミュニティセンター	桑名市長島町松蔭845-7	—	100人	259m ²	
		長島温泉 (駐車場を含む)	桑名市長島町浦安333	45-1111	3,400人		

25箇所 15,710人

伊曾島地区避難所高さ比較(参考)



自治会別人口（伊曾島地区）

平成23年3月31日現在

地区名	自治会名	世帯数	男	女	計
伊曾島	鎌ヶ地	32	56	55	111
	葎ヶ須	76	136	129	265
	赤地	34	62	54	116
	ユニータウン	145	217	216	433
	西福豊	16	34	33	67
	東福豊	49	87	71	158
	福吉	69	64	83	147
	長地	43	59	75	134
	福吉西町	31	54	42	96
	都羅	11	15	21	36
	西福豊団地	14	19	22	41
	フェニックス	96	115	114	229
	長島苑	140	168	164	332
	福吉中	111	152	139	291
	白鷄	50	92	100	192
	横満蔵	80	127	115	242
	ハートガーデン	40	74	70	144
	松西上	20	51	49	100
	松西下	28	64	51	115
	松中	44	96	86	182
	松東	63	120	131	251
	白鷄警察官舎	12	10	2	12
	ニュータウン白鷄	9	17	13	30
	長島観光福豊寮	42	41	1	42
長島観光女子浦安寮	247	1	247	248	
あ〜るハウス	8	17	15	32	
浦安	9	10	3	13	
	伊曾島地区合計	1,519	1,958	2,101	4,059

長島地区地域審議会 資料 (担当 商工課)

議題(2) 長島地区の活性化について

① 長島駅に急行停車・バス路線の恒常化の可能性について

長島地区の渋滞緩和を目的に近畿日本鉄道(株)、三重交通(株)及び長島観光開発(株)の三社協力によって、「なばなの里 ウィンターイルミネーション」の期間中(平成23年11月3日から平成24年3月11日まで)の土、日曜日及び祭日に限り近鉄長島駅に急行が停車することになりました。また、バスについても期間中毎日「なばなの里」行きのバスが運行しています。

今回は「渋滞緩和」を目的とした取り組みではありますが、一定の利用者が確保でき、民間事業として採算に合うものとなれば、恒常化に繋がるものと考えられます。

今後の計画

近畿日本鉄道(株)、三重交通(株)へ要望していきたい。

議題(2) 長島地区の活性化について

コミュニティバスについて

Kバスの利用が非常に少ない。ルートに問題があるのではないかと。長島駅から中央を通過して長島温泉に行くルートができれば、利用客が増えるはずである。

今後の計画

平成19年9月より運行しているコミュニティバス長島ルートにつきましては、合併前の福祉バス(すいごう)のルートを基本に、市民の生活路線としての見直しを入れて運行しており、22年度実績では約1万4千人(14,549人)の方にご利用いただいております。

長島ルートの運行開始当初は、長島駅から中央(県道)を通過して長島温泉方面に行くルートがありました。しかし、長島温泉繁忙期(夏休み・イルミネーション)に、県道が渋滞し定時運行ができない状況が発生し、利用者の方から「混雑しやすい道は避けたい」「時間通りに運行してほしい」とのご意見を頂戴したことや当初から「湾岸長島PA」バス停の利用が少なかったことからバス停を平成21年6月に廃止するとともにルートの変更を行った経緯があります。

観光客に視点を置くことも、利用者増加に向けた方法の一つですが、コミュ

ニティバス運行の第1の目的は「市民の皆様の日常の移動手段」であることから、まずは、市民の利用を最優先課題として取り組んで参ります。

また、現在、長島地域では、コミュニティバスのほかに三川商工会さんが会員向けの「スタバス」を運行されていますが、その運営や利用状況を踏まえ、コミュニティバスとスタバスの役割や住み分けについて、三川商工会さんと共に研究して参ります。

議題（2）長島地区の活性化について

コミュニティバスとスタバスの連動について

現況

商工会がスタバスを走らせている。割と評判が良いので、Kバスとうまく連動をさせることを考えられないか。

今後の計画

三川商工会さんが運行されている「スタバス」につきましては、スタンプ会の会員の方をご自宅から各登録店へ輸送するサービスと聞いております。

スタバスとの連動については、現在、三川商工会さんと研究、検討を行っております。

平成 23 年度 桑名市広域避難訓練について

1. 訓練目的

近い将来発生が危惧されている東海・東南海・南海地震において、東日本大震災からの教訓をもとに、市民の生命を守ることが重要となっております。

このようなことから、地震発生時の住民や行政・防災関係機関における初動時の行動や遠隔にある避難所へ移動、また、避難所での受け入れなどの訓練を行い、災害発生による緊急時のあり方について検証し、今後の防災体制の整備に役立てることを目的に訓練を行うものです。

2. 訓練想定

訓練想定としては、「平成 24 年 2 月 25 日(土) 午前 9 時 00 分頃、静岡県南方沖を震源とするマグニチュード 8.7 の地震が発生。気象庁は午前 9 時 03 分に大津波警報を発表。」を基に訓練を実施するものです。

3. 参加機関及び参加者数 (767 名) 約 770 名[〃]

桑名市 (87 名) …部長 17 名、動員職員約 50 名、課長・係長約 20 名

桑名市消防本部(10 名)

桑名市消防団 (140 名)

三重県 (危機管理部) (5 名)

三重県桑名県民センター (2 名)

桑名警察(10 名)

海上保安庁(10 名)

自衛隊 (7~8 名)

漁業組合 (城南・伊曾島) (10 名)

自治会(437 名+ α)

①長島地区(300 名)

(北部)^{R1}: 60 名、(中部)^{R1}: 170 名、(伊曾島)^{R23}: 70 名

②城南地区(137 名+ α)^{R23, R258}

和泉・小泉・小貝須・太平の各自主防災組織 約 40 名

城南地区自治会 41 の自治会長・副会長 約 82 名

和泉連合・南福江・福岡 約 15 名

③星見ヶ丘地区

自治会・関係団体 (50 名)

4. 訓練参加職員について

今回の広域避難訓練の参加職員は、別紙参照。

5. 災害対策本部の運営について

訓練には部長の参加をお願いします。

なお、訓練参加担当部局の該当の無い課長については、自由見学としますので、よろしくをお願いします。

6. 参加機関の訓練の役割及び概要

桑名市（87名）・・・部長17名、動員50名、課長・係長20名

- ①避難所での受付（名簿作成等）
- ②避難住民のバス・船の搭乗誘導及び受け入れ避難所での受付対応
- ③消防団との連携対応
- ④災害対策本部運営（関係機関との連絡調整等）
 - ・訓練指示及び情報集約は、災害対策本部が行う。
 - ※災害対策本部とのやり取りは、“桑名市防災行政無線にて行う。”

桑名市消防本部(10名)

- ①消防団の窓口対応
- ②大型車両の輸送対応

桑名市消防団（140名）

- ①避難広報及び危険箇所の確認
- ②避難住民の安否確認（避難所での受付対応）
- ③避難住民の避難所への誘導
- ④水門の開閉確認
- ⑤避難バスの後部誘導

三重県（危機管理部）（3名）

- ①「現地避難所」及び「現地災害対策本部」の運営における助言指導

三重県桑名県民センター（2名）

- ①県災害対策本部窓口

桑名警察(10名)

- ①各避難所から避難バスをパトカーにて先導

海上保安庁(10名)

- ①漁業組合の漁船の誘導及び安全確保

自衛隊 (7~8名)

①炊き出し訓練補助

漁業組合 (城南・伊曾島) (10名)

①伊曾島地区の逃げ遅れ住民の避難対応

自治会(437名+α)

①訓練対象地域住民の避難及び避難住民の受け入れ対応

三交協議⇒大型バス11台